

幼児の造形活動について

井戸 裕子

(平成4年10月1日受理)

Special Formative Arts for Early Childhood

Yuko Ido

(Received October 1, 1992)

1. 目的

造形力の発達を左右する要因については、個人の能力（造形を支え、左右する基盤の能力）と、個人の能力を刺激し左右する環境がある。

個人の能力には、① 手の技能、② 材料、用具に対する技術、③ 構成力、④ イメージ（形象）力、⑤ 興味・関心の傾向、⑥ 集中・持続力がある。

個人の能力を刺激し、左右する環境には、教育環境として、① 園の保育形態・構造、② 物的環境、③ 集団の相乗作用と、④ 家庭環境がある^{註1)}と、八木紘一郎氏は、「造形力の発達とその基盤」でのべている。

本研究では、幼児の造形能力を高める効果について、教育環境の、特に造形材料の面から考察したい。

2. 方法

N園における通常保育の観察並びに特別活動の観察参加により、考察する。

①教育環境として、N園の保育形態・構造について

〈保育方針〉

恵まれている自然環境を保育にいかし、動物や植物を育てるという生きた体験を生活の核として、知的教育を営まんとする。

〈保育目標〉

1. 諸手段を通して、社会に出て様々な出来事に対処していける人格の基礎を培う。

（自分の頭で考え行動できる子に。）

2. 自然とのふれ合いの中、仲間とのふれ合いの中で、思いやり、感謝する心など、豊かな人間性を育てる。

保育科 造形教育研究室

（思いやりのある子に。）

3. 様々な活動—遊び、健康、造形、音楽、自然……を通して意欲を育てる。

（意欲のある子に。）^{註2)}

〈保育の形態〉

一斉保育の形態をとり、年令別、クラス別保育を主としている。

しかし自由遊びの時間を大切に扱っている。

〈園児構成・職員構成〉

3歳児1クラス16名、4歳児2クラス55名、5歳児2クラス65名、合計136名。

保育者は、園長、主任、クラス担任5名、会計1名、給食1名、合計9名という構成になっている。

②物的環境

・東京都杉並区下井草にあり、西武新宿線井荻駅から徒歩5分。住宅地内にあるN園。

・敷地は、8910㎡（2700坪）、・園舎は約990㎡（300坪）木造平屋建てである。


・園庭の固定遊具は、鎖ネット、地球ジャングル、ヒコーク、土管、鉄棒、たいこ橋、砂場、登り棒、リング、青桐ロープ、山、つるつるお山。

・樹木は、むくろじ、竹林、柿、青桐、柏、白蓮、檉、榊、木犀、椿、やまぶき、キウイ、おしろい花、じゅず玉、など

・栽培は、ひえ、赤かぶ、さつま芋、じゃが芋、里芋、きゅうり、人参、大根、小松菜、葉ぼたん、母の日のプレゼントの為に植木鉢に花の種子をまく、チューリップの球根、ヒヤシンスの水栽培など。

・飼育物には、園庭中央に大きな兎小屋があり、大人も、子どもも中に入れる。子ども達は、小屋の中に入り、

表-I 造形特別活動

No	月日	題名	ねらい	表し方	材 料	活動状況
1	'89 4/18	「この穴の形何に見えるかな？」 (写真1) 〈平・造〉	穴の形や感じに興味を持って遊ぶ 穴の形から、自由に発想させ想像力を育てる	穴をあけた画用紙にのりをつけ、同じ大きさの好きな色画用紙を選び貼る。 「何に見えるかな？」画用紙上にフェルトペンでかき加え、 「へんな虫にしちゃった！」	・穴をあけた8ッ切画用紙 ・8ッ切色画用紙 ・桃・紺・青 ・橙・こい青 ・フェルトペン ・のり	机・椅子の構成はA ・ちようちよう・キティちゃん、おともなど形から命名している。 ・一人で3枚程度すると満足して終わる。
2	4/25	「コロコロ遊び」 (写真2) 〈平・造〉	ローラーでかく線や形に興味を持ち、楽しく遊ぶ	ローラーを版画の用具として用いるのではなく、線や形をかくための用具として扱う。ローラーに絵の具をつけ画用紙の上で転がして遊ぶ。	・4ッ切画用紙 ・版画用ローラー(巾6cm) ・絵の具・赤・青	E ・はじめ画用紙の上にのせ「調子はどうかしら」と転がす。 ・転がすだけでなく、型押し様にベタベタとスタンピングする。 ・コロコロとベタベタと、色の変化も楽しむ。 ・4枚ぐらいすると満足して終わる。
3	5/2	「フリスビーを作ろう」 〈動・造〉	とばして遊ぶ どんなものが飛ぶのか試しどのようにしたら、よくとぶかに関心を持たせる。	紙皿にフェルトペンで絵、模様などをかく。	・直径13.2mmの紙皿を2枚で1組 ・セロテープ ・フェルトペン	A ・作り終わり第2運動場ですぐ飛ばして遊ぶ。平均的には、2個作る。最高8個作った男児が1名いた。
4	5/9	「こいのぼりにもすてきなドレスを」 (写真3) 〈平・造〉	えのぐと筆に慣れる ハサミの使用に慣れる 飾る楽しさを味わい、色や形に関心を持つ。	絵の具で、こいのぼりに模様をかく。 全紙1/2(横長)をハサミで切り魚の形にした後、ポスターカラーで彩色する。	・全紙1/2(横長)うす黄らしゃ紙 ・ポスターカラー ・赤・青・水・黄・茶・黄緑の6色 ・はさみ ・のり	B ・尾びれの所をハサミでギザギザに切ったり、背びれもギザギザに切りのりで貼りつけた後に彩色した。
5	5/23	「ヒラヒラリボン」 〈動・造〉	∞状にした細長い紙に模様がかいてあるのでヒラヒラと落ちる時の模様の美しさに興味・関心をもつ。	細長い紙にフェルトペンで模様をかき∞状を作りとばして遊ぶ 	・細長い紙 ・のり ・フェルトペン	A ・一人2〜3個作り、とばして楽しむ。 ・作ることにのみ集中して、12個作った女児は満足げに「かんたん！」と言っていた。
6	5/30	「おたまじゃくしが遠足に行った」 (写真4) 〈平・造〉	お話を聞いて絵をかき、想像してかく楽しさを味わう併せて表現力も育てる。	T「きのうねトマト組さんにおたまじゃくしがいったの」 T「おたまじゃくしがおりをおどっていたの」 「うれしな！おたまじゃくしさんは遠足にいきました」 「おしゃべりしていいんですか？」 「かっこいいぼうし」 「88ひきのおたまじゃくし狭山公園に行きました。おたまじゃくしさんはどんなおしゃべりして行くんでしょうね？」	・8ッ切画用紙 ・フェルトペン	A ・子ども達は、教師の話を真剣に聞き想像をふくらましていた。 ・1枚約20分でかき終え、2枚目にとりかかる子もいた。
7	6/6	「とばして遊ぶものを作ろう」 〈動・造〉	とばして遊ぶ フリスビーを作った経験に基づいてとばして遊ぶ活動を発展させる	「紙テープと粘土のおもりをいっしょに遊ぶものを作しましょう」	・紙テープ ・粘土 ・ビニール	E ・グラウンドでとばして遊ぶ
8	6/13	「ワラ筆に絵の具をつけて」 (写真5) 〈平・造〉	普通の筆や、クレヨンなどでかいたのと違う表現効果から表現活動に興味・関心を深めさせる。	日常使用したことのない筆(ワラで作った筆)を用いての描画。 ワラ筆でグルグルとかき、筆の素材感を味わいながら、いろいろ試してみる。 スタンピングやドロッピングなど	・ワラ筆 ・絵の具・赤・黒 ・4ッ切色画用紙 ・桃・黄・黄緑	D ・手先だけでなく、体全体でグルグルやボンボンと筆の素材感を楽しんでいる。
9	6/27	「カタツムリのお家(カラ)にもしもきれいな模様がついたら」 (写真6) 〈平・造〉	かたつむりにおしゃれをさせて飾る楽しさを味わう。	色画用紙に好きな色で大きくカタツムリをかき、それに模様をかかせる。	・4ッ切色画用紙 ・桃・黄・黄緑 ・ポスターカラー ・茶・桃・橙・青・黄緑・赤	B ・外は雨が降り出す ・アトリエ内のカレンダーにカタツムリがかかっているのを見て「カレンダーにもついている」カタツムリは「ぼくをかくてくれてありがとう」と言っている「カタツムリ」って雨が好きなんだから」
10	7/6	「クルクル回るものを作ろう」 〈動・造〉	動くものを作り、それをつかって遊び、使うものを作る楽しさと喜びを味わう	円錐形に切り込みを入れ、クルクル回るものを作る。 はさみの使い方に慣れる ①扇形のコンビカラーの頂点にセロテープで糸を止める ②ステッパラーで円錐形になる様止める ③セロテープで補強する ④フェルトペンで何か模様をかく	・コンビカラー ・扇形に切った紙 ・フェルトペン ・黄・黒 ・セロテープ ・ステッパラー ・糸 ・はさみ	C ・2回作り外でためてみる ・風のコンビカラーをみて「スイカ切ったみたい」と言う子がいた。 ・7つ作った男児が最高模様をかかない子もいた

幼児の造形活動について

11	7/11	「スイカの絵をかこう」 (写真7) ＜平・造＞	経験した思いをもとに、絵画表現をする楽しさを味わう	スイカを食べた後感じたことをすなおに表現する。色画用紙(好きな色を選び)にクレヨンでスイカの絵をかく	・8っ切画用紙 ・クレヨン	A ・スイカ割りをして、スイカを食べた後に絵をかく
12	9/19	「花火を思い出して」 (写真8) ＜平・造＞	花火の体験をもとに更に想像もまじえて絵をかき経験や想像して絵をかく楽しさを味わう 経験を素直に表現するはじき絵を経験する	画用紙にクレヨンで絵をかき、次に青のポスターカラーを前面にぬる	・青のポスターカラー ・クレヨン ・8っ切画用紙	D ・クレヨンの部分がポスターカラーをめることによりはじけることを楽しんでいた
13	10/3	「紙で木を作ろう」 (写真9) ＜平・造＞	紙の質感を楽しむ はさみ・のりのつけ方を体験する	①クラフト紙に切り込みを入れ木を作る ②画用紙の上に①を貼りフェルトペンで好きな絵をかく	・4っ切画用紙 ・クラフト紙 ・フェルトペン ・はさみ・のり	E ・クラフト紙をはさみでチョキチョキと切りいつもと違う素材を楽しんでいた
14	10/24	「どじょうをかく」 (写真10) ＜平・造＞	にじんでできた形から何かを想像してかき、想像の楽しさを味わう	透明水彩でのにじみ、油性ペン上の彩色を楽しむ 画用紙にどじょうをかき、油性ペンの上から透明水彩を置いて行く	・8っ切画用紙 ・油性ペン ・透明水彩	D ・にじみで出来た形から刺激されて絵になって行く子・油性ペンで絵をかき水彩で彩色している子とあった
15	11/14	「ドーナツたくさんあげる」 (写真11) ＜平・造＞	紙をドーナツ状にちぎる遊び、形に意味のあることに関心を持ち、形作りの楽しさを味わう	紙を手でちぎる左右対称形のドーナツを作る ドーナツを食べた後にすぐ行う	・8っ切色画用紙 ・雑誌の少し厚口の紙	C ・ドーナツを食べたことによりもっとたくさんドーナツをつくらうと意欲が高まっていた
16	11/28	「折染」 (写真12) ＜平・造・デ＞	どんな色、模様が出来るか楽しむ 折り方をいろいろ試してみる	①和紙を折り染料の中に入れ染めあげる ②染めた和紙をひろげかわかす	・和紙 ・和紙染め染料	A ・いつもきまって「やらない」というM君が今回に限り「早くやりたーい」と大声で言った。すべての子が興味を示し、染料がなくなるまで遊んだ
17	12/5	「ジグソーパズルを作ろう」 ＜平・造＞	カッターナイフの使い方に慣れる、スチロール板の扱いに慣れる 作ったもので遊ぶ楽しさを味わう	①スチロール板いっぱいに絵をフェルトペンでかく ②スチロール板を6か8ピースにカッターナイフで分割する	・スチロール板 ・フェルトペン ・カッターナイフ	F ・以前にカッターナイフを使用しているので誰一人心配なく分割出来た ・出来上がったパズルを友達同士でやり合う ・教師が作例に顔をかいたので子ども達も顔のジグソーが多い
18	12/2	「糸ひき版画一何に見えるかな?」 (写真13) ＜平・造・版＞	糸ひき版画の方向を知り表現活動を楽しみ、できた線や形から発想して何かをかき加え表現の楽しさを味わう	T「今日は手品のお絵かきをします」 T「糸さんお風呂に入って下さい」(糸に汁をつけすぎないよう注意) T「二人で一人組になって一人がおさえる人一人は引っぱる人ね」 T「やり方わかった?」赤でやって黒もやりたい場合、はじめの(赤)色が良く乾燥してからでないと、色が重なりきたなくなることに注意する	・糸 ・赤・黒・ポスターカラー ・B5画用紙 ・フェルトペン	C ・二人組になって糸引き出来上がりを楽しみにする ・出来上がった形から加筆して何に見えるか見たとて楽しんでいた
19	1/16	「紙テープを使って迷路を作る」 ＜平・造＞	絵テープで線を作る楽しさそしてその線で迷路を作って遊ぶことを通して、いろいろな造形的な遊びのあることを知る	両面色画用紙でつくった為、色合いが美しい	・両面色画用紙の3cm巾の紙テープを使用 ・4っ切画用紙 ・のり ・セロテープ	F(雪が降ったので) ・2クラス合同で行うが自然にどんぐり組ときのご組にわかれて着席し身動き出来ないほどキューキューな為その場で集中して迷路をつくった
20	1/23	「ふしぎなふえる絵(まほうの絵)」 (写真14) ＜平・造＞	まほうというネーミングと表現方法から想像して話す能力を育てる	T「雪が降って来たので今日はまほうの紙で、雪だるまを沢山書きましょう」	・B4上質紙 ・B5のカーボン紙 ・鉛筆	A ・雪だるまいくつかけたか教師に見せながら数をかぞえ楽しんだ
21	2/6	「不思議な人喰花のお話を聞いて絵の具でかく」 (写真15) ＜平・造＞	あり得ないことを課題として自由に発想させてかき、発想の楽しさと表現意欲を高める	虹の形から入ってもよいし、色画用紙を大きく花の形にちぎって作らせ、そこから入ってもよい	・4っ切色画用紙 ・灰・茶・緑 ・ポスターカラー ・赤、橙、黄、緑、白、黄緑、黒、茶	D ・ふしぎな色の画用紙によりふしぎの花が出来上がった ・一人で3枚かき終了した子もあった
22	2/13	「ソフトレンガにドライバーで彫刻」 ＜立・造＞	物を彫って表す楽しさを味わいながら思いを立体的に表すことに関心を持てる	長方形のソフトレンガにドライバーを使い、穴をあけたりけずったり立体の何物かをつくる	・ソフトレンガ ・ドライバー	子もあった ・テラスにこしかけて彫る ・ソフトレンガをドライバーでけずると白い粉が出る ・これを集める子もいる ・ドライバーでポコポコ穴をあけることを楽しんだ
23	2/20	「カラードフォルムを長く切って止めて、立体にする」 ＜立・造＞	はさみ・ステップラーの使い方に慣れる	厚紙で好きなものを立体でつくって立体表現の感動を味わわせる	・カラードフォルム ・ステップラー ・はさみ	E ・ステップラーの使い方が全員上手になる、好きな所に止められていた
24	2/27	「冬眠中に、地面の下で虫達がオシャレをしているという話をきいてかく」 (写真16) ＜平・造＞	話を聞いてかき、想像力を育て、想像してかく楽しさを味わう	フェルトペンで想像したことをかきそれに透明水彩で彩色して表す	・8っ切画用紙 ・フェルトペン ・透明水彩	D ・想像して表現する楽しさを十分味わっていた

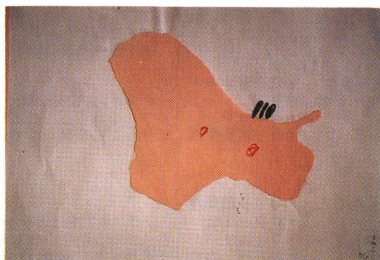


写真1 「この穴の形何に見えるかな？」



写真5 「ワラ筆に絵の具をつけて」

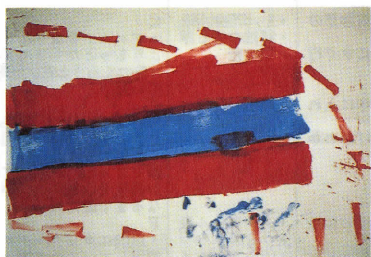


写真2 「コロッコ遊び」



写真6 「カタツムリのお家（カラ）に、もしもきれいな模様がついていたら」

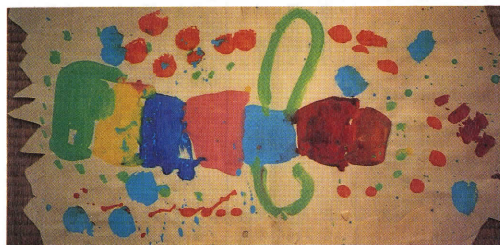


写真3 「こいのぼりにもすてきなドレスを」

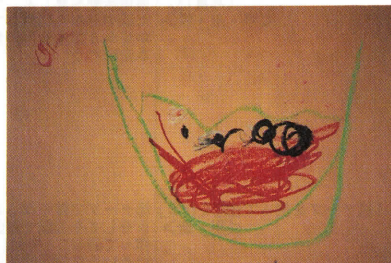


写真7 「スイカの絵をかこう」



写真4 「おたまじゃくしが遠足に行った」



写真8 「花火を思い出して」

写真1 造形特別活動例（写真1～8）



写真9 「紙で木を作ろう」

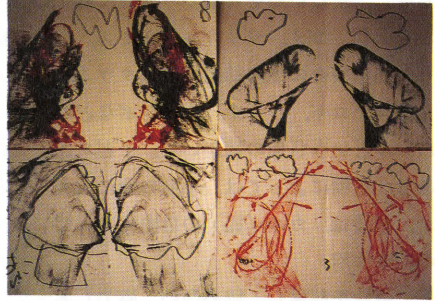


写真13 「糸ひき版画一何に見えるかな？」



写真10 「どじょうをかく」

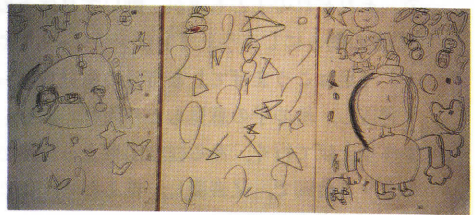


写真14 「ふしぎなふえる絵（まほうの絵）」

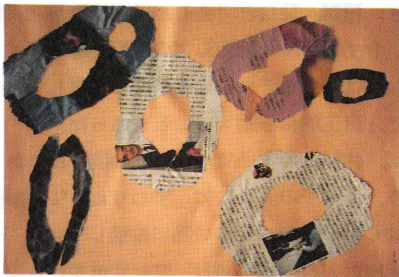


写真11 「ドーナツたくさんあげる」



写真15 「不思議な人喰い花のお話を聞いて絵の具でかく」



写真12 「折染」



写真16 「冬眠中に地面の下で、虫たちがおしゃれをしているという話を聞いてかく」

写真2 造形特別活動例（写真9～16）

そうじをし、新しい餌を8羽のうさぎにあたえていた。
にわとり2羽、カメ、ザリガニ、ミミズ、ダンゴ虫、
かまきりの幼虫やその他の幼虫、カタツムリ、ナメク
ジ、アリ、コオロギ、バッタ、赤トンボなどなど。

園庭にカルという名前の猫がいて、子ども達と大の仲
良しである。活動によっては、小屋の中に入れられる時
はあるが、普段は、カル(猫)の自由になっている。

③集団の相乗作用

個々人の個性を尊重し、認め合い、協力しあって、目
的にむかって、協力的に構成する。

事例Ⅰー運動会のマスゲームを実施するまでー

曲の選択、動きの表現など、5歳児2クラス
で、それぞれの子ども達が、動いて身体表現、
『忍者の動きにしよう』『手はシュシュってやっ
て』『足はこうまげて』と自分の意見もはっきり
発言し、他の子の意見もとり入れ、調整しつ
つ作り上げて行く。ある程度出来上がった所で、
2クラス合同で、又表現し、見あわせ、作り出
して行く。教師は、子どもの表現を確認し、伝
達する役割の様であった。

事例Ⅱー劇あそびー

5歳児クラスで、グループにわかれ、そのグ
ループで、好きな劇あそびを相談し、決定する。
必要な道具類(製作に必要な物)は、箱の部屋
から材料をさがしもって来る。そして製作し、
進めている。教師は、子ども達から助けを求め
られた時に、援助する役割の様であった。

事例Ⅲー砂遊びー

砂場での遊びの様子から、4歳児は5歳児の
遊び方をしっかり見て、模倣して遊ぶ。特に一
緒に遊ぶことはない。5歳児が、水道の所から
ビニール管の太いものを用いて、何か所かにジョ
イントを作り、砂場の中の池に水を入れる様に
工夫する。5歳児が砂場にいない時、4歳男児
が同じようにジョイントを作ろうと試行錯誤を
くりかえし楽しんでいる。

事例Ⅳー昼食の当番活動ー

5歳児は、3歳児のクラスに、昼食の準備に
行く。机のセッティング、ビンの牛乳を各自の
コップに注ぐ。弁当を本人の座っている机の上
に置く等。活動を済ませて、自分達のクラスに
もどって来ると、『トマトさん(3歳児)可愛

いいんだよ。』『ありがと』っていったよ』な
ど大変な喜びの様子を全身で表現し友達に伝え
ている。この5歳児達も、責任感や5歳児とし
ての自覚を身につけ成長していく様であった。

3. 結果および考察

造形特別活動については、表-Ⅰに示す通りである。

対象児は、5歳児希望者(どんぐり組33名中21名、き
のこ組32名中21名)が参加している。

活動日は、毎週火曜日、保育終了後、約1時間。

活動場所は、N園第2運動場内にある、木造平屋のア
トリエ。床は緑のカーペットが敷かれ、子ども達は、上
ぐつを使用しない。

指導者は、園長と造形特別活動専任教師(保育者)で
実施していた。

①造形特別活動結果は、写真1から16参照のこと。

②活動状況の中で、環境構成の一部である、机、椅子の
配置については、図-Ⅰに示す通りである。

机の大きさは、60cm×90cm×51cm(高さ)である。

配置はA～Fの6通りがみられた。

これは、活動内容により指導者が、準備した造形材料
の大きさ、種類、数など考慮し、子ども達が、材料・用
具が使いやすい様にと配慮しての配置である。

子ども達は、それぞれ好きな座席に着席して良い。活
動途中で、自主的に移動することもあった。

これは、仲間との関係で、ある子の隣りにすわりたい
時もあり、ある子の隣りには、すわりたくない時もあり、
活動がはじまり落ちつかない為に移動している。これら
の事を考慮に入れ、指導者は、常に空席を作り、全座席
をいっぱいにしない様配慮していた。

③造形特別活動の表現形式を1、平面的造形活動<平・
造>、2、立体的造形活動<立・造>、3、動く造形活
動<動・造>と大きく3つに分類してみた。(表-1題
名の下参照)

1. 平面的造形活動<平・造>は、主に描画表現活動
で「この穴の形何に見えるかな」「コロッコ遊び」「こ
いのぼりにもすてきなドレスを」「おたまじゃくしが遠
足に行った」「ワラ筆に絵の具をつけて」「カタツムリ
のお家に、もしも、きれいな模様がついていたら」「ス
イカの絵をかこう」「花火を思い出して」「紙で木を作
ろう」「どじょうをかく」「ドーナツたくさんあげる」
「ジグソーパズルを作ろう」「紙テープを使って迷路を

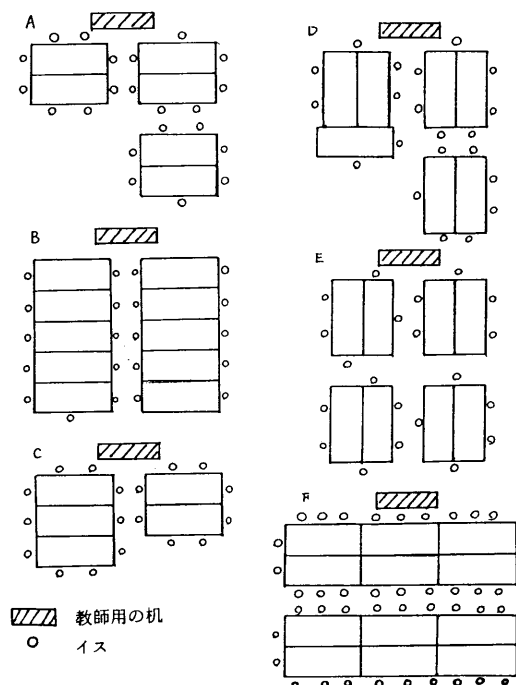


図-1 机、椅子の配置について

作る」「ふしぎなふえる絵」「不思議な人喰い花のお話を聞いて絵の具でかく」「冬眠中に、地面の下で、虫達がオシャレをしているという話きいてかく」の題の活動である。「糸ひき版画何に見えるかな?」は描画表現活動の中で版遊び活動になる、「折染」もデザインの造形活動も含まれる描画表現活動である。

2. 立体的造形活動〈立・造〉は、粘土や箱などの立体による製作であり、ここでは、「ソフトレンガにドライバーで彫刻」と「カードフォルムを長く切って、止めて立体にする」と2題の活動である。

3. 動く造形活動〈動・造〉は、「フリスビーを作ろう」「ヒラヒラリボン」「とばして遊ぶものを作ろう」「クルクル回るものを作ろう」など遊ぶための製作活動であった。

造形特別活動における表現形式の一番多いのは、平面的造形活動75%、次いで動く造形活動は17%、立体的造形活動は、わずか8%であった。

④材料について、④描材として日常良く使われているのは、クレヨン、パス類、フェルトペン、水彩絵の具、鉛筆、墨汁、インク、ポスターカラーなどである。

「コロッコ遊び」にみられる様に、版画用ローラーを線や形をかくための用具としての扱いを注目したい。

ローラーのコロコロと転がる動きや、スタンピングの様に扱うことも出来、大きい面を構成する為に使用することも可能である。

「わら筆に絵の具をつけて」においては、描材用具の筆が、わらで作られていて、日常使用したことも、見たこともない材料を扱うことにより、興味、関心が高まり意欲的に取り組める要素になっていた。

B. 描材の紙類については、主に画用紙は、4ツ切、8ツ切の大きさを用いたが、「こいのぼりにもすてきなドレスを」にみられる様に、全紙大の横長半分を材料として扱う。日常この大きさは扱うことはなく、尾の部分に切り込みを入れたり、ひれを切ってつけ加えたりと、十分な活動が行なわれていた。

画用紙、色画用紙、両面色画用紙など紙質、色、大きさ、形など表現目的に合った、効果的な適正なものを選択して準備することが大切である。

「ふしぎなふえる絵(まほうの紙)」にみられる描材は、カーボン紙と上質紙を使用した。カーボン紙をはさんで描くことにより数が沢山出来ること、ふえるおどろきなど、材料として特殊であるが、普段使わない材料として新しいのではないだろうか。

「紙で木を作ろう」は、クラフト紙の質感を楽しむことが目的である。クラフト紙をはさみで切ったり、まるめてのばしてしわを作り、これを用いて木を作り、4ツ切画用紙に貼る。

クラフト紙を描材として扱った例である。同様の扱いに、「ドーナツたくさんあげる」は、雑誌の少し厚口のつるつる紙をあたえ、手でちぎってリングドーナツを作る。半分に折りちぎることを見つけ出す、など、ちぎって作ったドーナツを、色画用紙上に貼り何かに見立てて表現している子もあり、形をつくり楽しさを十分味わうことが出来れば、このねらいは達成できていた。

4. まとめ

本研究では、教育環境の特に、造形材料の面を検討した。

造形特別活動の場面からの分析の為、教師がすべて、表現目的にふさわしい表現材料を準備した。これは、幼児の発達段階に即したものの、表現の目的に合った効果的なものであった。

日常の保育では、N園は特に恵まれた自然環境の中にある。特に樹木、竹林など例にあげると、竹の子の成長を観察したり、竹林で涼を楽しんだり、竹の子の皮に梅をつつんで食べたり、竹の子ほりをしたり、竹の子を食べたり、竹を切ったの製作（楽器をつくったり、花入れを作ったり等）素材から触発され、イメージが湧き、製作活動へと発展している。

このような環境の中で子ども達は、つくることによって考え、つくることにより育つ、豊かな材料体験を持ちそれを適切に使えるようになることは、表現を多様にし、拡大するばかりでなく、創造力を豊かに育てるうえできわめて大事なことである。

幼児期では、言語による抽象的思考のできない、あくまでも具体的な物とのかかわりをとおしてこそ思考能力も育ち、感性も意志力も育っていくものではないだろうか。

今後は、幼児の造形能力を高める環境、中でも保育者の援助のあり方の検討をして行きたい。

謝 辞

本研究にあたり、幼児造形に特に力を入れている幼稚園として、中瀬幼稚園をご紹介下さいました建帛社の望月様、本学阿部明子先生にお礼を申し上げます。

中瀬幼稚園の子ども達、先生方、特に作品を心良くお

貸し下さいました徳田様には、心からお礼を申し上げます。

熊田藤作先生はじめ諸先生方には、暖かいご指導ご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

引用文献

注1) 八木紘一郎、海老原京子：造形力の発達とその基盤、日本保育学会第36回大会研究論文集、1983、P.198～

注2) 中瀬幼稚園入園案内1989年

参考文献

村内哲二編：保育内容造形表現の指導、建帛社、1991
林健造：幼児造形教育論—三系論を中心として、建帛社（東京）1987

周郷博、倉田三郎、湯川尚文、霜田静志、久保貞次郎編、子どもの美術1、美術による教育、美術出版社、1956

日本保育学会編：1989年版保育学年報「幼児の表現と保育」、フレーベル館（東京）1989

小川博久編：保育実践に学ぶ、建帛社、1988

長坂光彦編：絵画製作・造形、川島書店、1990

鬼丸吉弘：原初の造形思考、勁草書房、1985

八木紘一郎、海老原京子：造形力の発達とその基盤(1)(2)、日本保育学会第36回大会研究論文集 1983